



いよいよ明日から春休みとなりました。1年間が早いと感じた人、とても長く感じた人、色々な感想があると思います。ここ3年間はコロナに翻弄された日々でしたが、やっとこれまで通りに生活できそうな気配を感じています。やろうと思っても出来なかったことにトライするチャンスです。温めてきたことには是非とも全力で取り組みましょう。人生は短い。後悔先に立たずです。春からスタートダッシュしてみましょう！応援しています。

子どもの貧困とヤングケアラー の研修会に参加しました！

1. 「子どもの貧困」の基礎知識

2018年度日本の子どもの相対的貧困率 **13.5%**

→日本はひとり親世帯の貧困率が世界でも
トップクラスの50.8%

・以下の内容は丁寧に議論する

→右のグラフのように調査によると貧困と虐待には
関連があるという結果も出ている。

貧困を解消し適切な支援を行うことで

親は虐待をしないで済むようになる。

子どもは自分の力を発揮できるようになる。

2. 困難を抱えた親子はどんな姿をしているか

- ・「助けて」と言えない。
- ・クレームや過度な要求をする。
- ・理解力の難しさがあることも
- ・マイナス感情や違和感を周囲に感じさせる。

3. 何ができるか

①相談にのる

- ・どこに相談すればいいのか、相談に値することなのかも分からない。
- ・「とりあえずの相談」ができるつながりが必要

②つなげる

- ・安心できる大人に（教職員・スクールカウンセラー・本校の放課後カフェのスタッフなど）
- ・支援団体などにつなげる（反貧困ネットワーク、生活保護支援ネットワークなど）

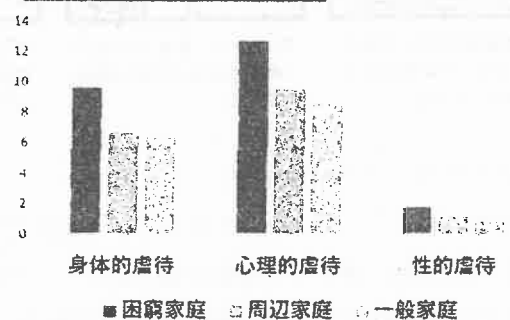
③がんばりを認め、孤立を解消する

- ・どんな親子にも必ず頑張っているところがある。それを具体的に褒める。

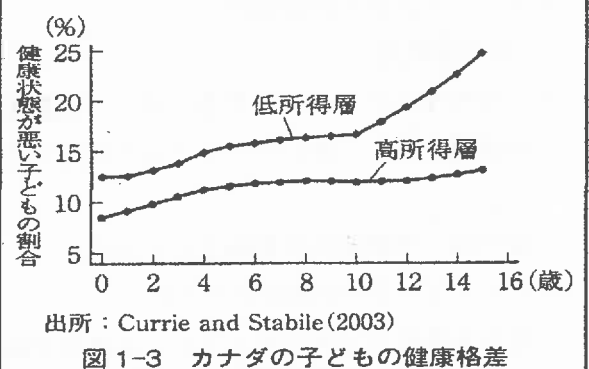
→自己肯定感を高められ、逆境に屈せずに戦う力となる。また、自分のことを分かってくれると感じ、困ったときには相談できる存在になれば、孤立を解消できる。

貧困と虐待

長野県子どもと子育て家庭の実態調査(2017)n=2366



貧困と子どもの健康



ヤングケアラーとは？

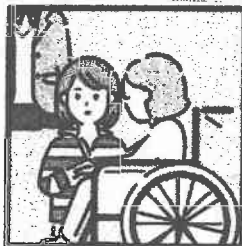
本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども（18歳未満）のこと。
→厚生労働省ホームページより



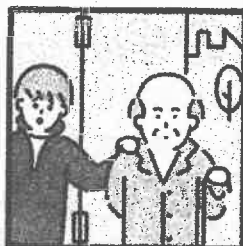
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

4. ヤングケアラーの何が問題か

- ・「親孝行な子」「えらい子」と見られ、「支援すべき対象」と見られることは少ない。
- ・「欠席・忘れ物が多い」「成績が伸びない」→叱責される、自己肯定感が下がる。
- ・「クラブに出られない」「友達付き合いできない」→疎外感・孤立
- ・家族の認知症などを目の当たりに・重大な責任→メンタル不調

5. ヤングケアラーの将来は

- ・「進学を断念」
- ・自分の夢にチャレンジするとき「罪悪感」
- ・障害児のきょうだい→今ケアしていなくても、今後ケアラーになることを、将来設計に組み込まざるを得ない。
- ・夢を描く意欲自体が委縮させられる。

6. ヤングケアラーに何ができるか

- ・最も大事なことは声を聞くこと。必要な支援は一人ずつ違う。
- 「安心できる大人に1対1で話を聞いてもらいたかった。」元ヤングケアラーより
- ・利用できる制度があれば利用できるようにする

参考：ヤングケアラー配食支援モデル事業 週1回無料で冷凍のお弁当が家族の人数分配達される（3ヶ月、置配方式）兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口（一般社団法人兵庫県社会福祉士会内）
神戸市以外居住 078-894-3989 月～金曜日 9:30～16:30（祝日・年末年始除く）
神戸市居住 078-361-7600 月～金曜日 9:00～17:00（祝日・年末年始除く）

E-mail: yc@hacsw.or.jp



LINEアカウント